

中3英語



1章 時制

要点

■ 確認問題 1

解答

- (1) 私たちの国には十分な天然資源がない。
- (2) 彼らは上の階でアンの誕生日パーティーを開いている。

■ 確認問題 2

解答

- (1) 私の祖父は昼食後、昼寝をする。
- (2) この店では古本を売っている。
- (3) 彼は野生動物についての本を書いている。

■ 確認問題 3

解答

- (1) その飛行機は街の上を飛んだ。
- (2) 鳥たちが空を飛んでいた。
- (3) アンはとても不注意だったので、いつも間違いをしてばかりいた。

■ 確認問題 4

解答

- (1) 彼らはあなたを誘惑しようとするだろうが、のってはいけない。
- (2) お座りになって下さい。すぐにタクシーを呼びましょう。
- (3) 私はこの夏、千葉に引っ越す予定だ。
- (4) We'll be driving in Hokkaido at this time tomorrow.

■ 確認問題 5

解答

- (1) 彼は奇妙だが美しい話を昨晚私にしてくれた。
- (2) この古い塔について、たくさんの話が語られている。

■ 確認問題 6

解答

- (1) ロンは遠い国から来た。
- (2) 私は2日間頭痛がしている。
- (3) 昨晚から雨が降り続けている。

■ 確認問題 7

解答

- (1) ウエダ氏は、私たちがホテルに到着した時にはすでにチェックアウトしてしまっていた。
- (2) その少年はこの国に来るまで一度も雪を見たことがなかった。
- (3) 彼はついにその仕事を得るまで、3カ月無職だった。

■ 確認問題 8

解答

- (1) 私は今週末までにこの本にある100個のイディオムを勉強しているだろう。
- (2) 彼らは次の春でその事業に2年間を費やしていることになる。

問題

【1】

解答

- (1) are saying
- (2) was spending
- (3) just being
- (4) takes off
- (5) was taking [having]
- (6) are going to
- (7) be studying
- (8) have done

解説

- (1) 「言おうとしている」を what 節で表しているが、ここでは現在進行形を用いる。
- (2) 「過ごしてばかりいた」は過去に繰り返された行為なので、過去進行形を用いる。
grandmother's = grandmother's house。所有格の後で建物を表す名詞 (house, shop など) は省略されることがある。
- (3) 「ふざけている」のは一時的な状態なので be 動詞 + being + 形容詞で表す。He's just silly. は永続する状態を表すので、「彼は愚か者なだけだ」という意味になる。
- (4) 空港で使われる現在時制は、決まった予定を表す。
- (5) hear + O + 動詞の原形「Oが…するのが聞こえる」
- (6) 前もって意図している予定は be going to … で表す。
- (7) around this time tomorrow 「明日の今頃」という副詞句があり、ある動作が進行中であることを表すので、未来進行形を用いる。
- (8) when you have done with ~ 「あなたが~を済ませたら」は会話などでよく用いられる。

【2】

解答

- (1) I'm thinking of going to New York next year.
- (2) Sara is staying with her grandmother to take care of her.
- (3) She was always speaking ill of her friends.
- (4) My father has been a big fan of the Tigers since he was a child.
- (5) No bears have been seen in this area for many years.
- (6) If you move to this town, we'll be seeing each other more often.

解説

- (1) 「…しようかと思っている」は be thinking of …を用いる。
- (2) 「~の家に滞在している」は現在進行形を用いて、is staying with ~ とする。
- (3) 「いつも…ばかりしていた」は過去に繰り返された行為なので、過去進行形を用いて

表す。

- (4) 「子供の頃から」とあるので、現在完了の「継続」を用いる。My father has been a big fan of ~ とする。
- (5) 現在完了形の受動態。動詞部分の語順に注意。We haven't seen any bears in this area for many years. としても同意。
- (6) 「互いに顔を合わせる」は see each other であるが、「互いに顔を合わせるようになるでしょう」なので、成り行き程度の未来を表す未来進行形を用いる。

【3】

解答

- (1) ① How long will it take to reach Japan?
② It will have arrived in Japan by this time next week.
③ I'd also like to buy five thirty-two cent stamps.
- (2) (a) イ (b) ア (c) ウ (d) ア (e) ウ

解説

- (1) ① 「…するのにどのくらい時間を要するか」なので、How long will it take to …? を用いる。
② 「着いているでしょう」では未来完了形を用いて、will have arrived とする。
③ 「～を買いたい」は would like to buy ~ を用いればよい。
- (2) (a) 「A氏とBさんはどこにいるのか」→「郵便局」
(b) 「A氏は何ですか」→「郵便局員」
(c) 「Bさんは何ですか」→「お客」
(d) 「Bさんは何をしていますか」→「日本へ船便で本を送ろうとしている」
(e) 「Bさんはどんな支払い方をしますか」→「トラベラーズ・チェックで支払う」

全訳

A氏 : お次の方。

Bさん : この4通の手紙と小包を送りたいのですが。

A氏 : ええと…手紙はそれぞれ60セントです。小包の中身は何ですか。

Bさん : 本です。

A氏 : 手紙は入っていますか。

Bさん : いいえ、手紙はありません。本だけです。日本に着くまでにはどれくらいの期間がかかりますか。

A氏 : 1月半ほどです。もし航空便で送れば、およそ1週間でしょう。来週の今頃には日本に到着するでしょう。

Bさん : そうね、それなら、急がないわ。

A氏 : それなら、船便で12ドル50セントになるでしょう。

Bさん : それがいいわ。32セントの切手5枚も買いたいのですが。

A氏 : はい、どうぞ。手紙が2ドル40セント、小包が12ドル50セントで、切手が1ドル60セント。全部で16ドル50セントです。

Bさん：クレジットカードは扱っていますか。
 A氏：残念ながら、扱っていません。
 Bさん：トラベラーズ・チェックで支払ってもよろしいですか。
 A氏：20ドルの小切手だけを扱っています。
 Bさん：はい、どうぞ。
 A氏：結構です。おつりです。ありがとうございました。
 Bさん：ありがとう。

【4】

解答

- (1) she was born and brought up
- (2) had already gone away
- (3) had been smoking
- (4) will have gone, lands
- (5) I'm twenty, will have learned

解説

- (1) 「自分が生まれ育った」は過去形で was born and brought up とする。
- (2) 「駆けつけた」時点より前に、もう姿を消していたので、過去完了形を用いる。
- (3) 「母親が入ってくるまで」という過去の時点の前に、トムはずっとタバコを吸っていたので、過去完了進行形の「動作の継続」を使うことになる。
- (4) 「上陸するまでには」は未来の時を示す副詞節なので、現在形を用いる。主節の方は、未来のその時点で「去っているだろう」ということなので、未来完了を用いて表す。
- (5) 「20歳になったら」は未来の時を示す副詞節なので、現在形を用いる。「～間、習っていることになる(だろう)」は未来完了の「継続」になる。

【5】

解答

- (1) We'd never talked with [to] each other until [before] we met on the bus yesterday.
- (2) The telephone [phone] had been ringing for a few minutes until [before] he finally answered (it) .
- (3) They will have moved to another town (by) this time next month.
- (4) I heard that your father gets exercise every morning.
- (5) I had difficulty finding my uncle's house because I had never visited it before.

解説

- (1) 「昨日バスの中で会うまで」は until 節あるいは before 節を用いて表す。主節の「お互いに口をきいたことがなかった」は過去のある時点までの経験を表すので、過去完了で表す。
- (2) 「彼がついに出るまで」は (1) と同様に、until または before を使う。ただし「電話

が鳴り続けていた」とあるので、had been ringing のように、過去完了進行形にしなければならない。

- (3) 「引っ越してしまっているだろう」は、未来完了形を用いて表す。
- (4) 「毎朝運動をしている」は毎日の日課なので、現在時制で表す。主節がI heard であっても、現在時制のままにする点に注意したい。
- (5) 「今まで訪ねたことがなかったの」は because 節で表せばよいが、ポイントはこの部分は「おじの家を探すのに手間取った」時点までの経験を述べているので、過去完了を用いて表すことである。「…するのに手間取る」は have difficulty …ing で表す。

【6】

解答

- (1) Later
- (2) which made it possible for them
- (3) worse
- (4) the fewer trees there are, the less rain falls

解説

- (1) 「時間的に後で」の意の副詞が入ると、意味が通じる英文になる。
- (2) make O C (形容詞)「OをCにする」この it は 後続の to change を受ける形式目的語で、意味上の主語が for them で表されている。
- (3)・(4) とも the + 比較級 ~, the + 比較級 …「~すればするほど、ますます…」の構文がポイントとなる。(3) の worse は bad の比較級。(4) では、可算名詞複数形の trees には few の比較級 fewer が、不可算名詞の rain には little の比較級 less が付くことに注意。

全訳

もともと、人類は環境に大きな影響を与えられるほど力があるわけではなく、利口でもなかった。しかし、人類はさまざまな技術を習得した。例えば、火を使うことを覚え、その結果乾燥した草地や木を焼き尽くすことが出来るようになったのだ。また、土地を耕すことを覚え、未開拓の奥地を、あるいは、森林地帯さえも畑に変えることができるようになったのである。後に彼らは、河の流れを制御したり、水路を掘ったりすることによって、自分たちの土地に水を引いてくる方法を覚えた、これにより人類は砂漠を緑の豊かな土地に変えることができるようになった。

しかし科学が進歩すればするほど、人類が地球の地表に与える影響はいっそう悪いものとなったのだ。軍艦を作る、あるいは、調理に使うまきを調達するという目的達成のため、広範囲にわたる森林伐採ができるよう金属製の斧を作成した。結果として、人類は緑の豊かな土地を砂漠に変えてしまった。また、樹木は降雨を呼びよせるものなので、木が減るにつれて降雨も減るのである。

リスニング演習

解答

① 12 ② 2 ③ 1 ④ 3

Script

CD 1

Bob : Hi, Yuri. This is Bob speaking. Kazuo and Yoshiko are at my house and we're studying English now. Will you join us?

Yuri : Sure. I'm cleaning my room now, and I'll join you at twelve o'clock. Shall I buy something for lunch on my way to your house?

Bob : Thanks. Wait a minute ... please buy two hamburgers and one cheeseburger and three French fries for us.

Yuri : All right. See you later.

全訳

ボブ：やあ、ユリ。ボブだけど。カズオとヨシコがぼくの家において、ぼくらは今英語を勉強しているところなんだ。きみも来ないかい。

ユリ：ぜひ。今部屋の掃除をしているから、12時に行くわ。家に行く途中でお昼ご飯に何か買っていきましょうか。

ボブ：ありがとう。ちょっと待って…ハンバーガーを2つ、チーズバーガーを1つ、フライドポテトを3つ買ってきて。

ユリ：わかったわ。またあとで。

解説

① ユリは「12時に参加する〔行く〕わ」と言っている。

②～④ 「ハンバーガーを2つ、チーズバーガーを1つ、フライドポテトを3つ」買う。

解答

① 木 ② 動物園 ③ (午前) 9時 ④ お昼ご飯〔昼食；お弁当〕 ⑤ 金

Script

CD 2

We're going to visit the City Zoo to draw pictures of animals next Thursday. We'll walk to the zoo, so please come to school by 9:00 a.m. The zoo opens at 9:30 a.m. and we'll be there until 3:00 p.m. Bring your pencils and sketchbook. And don't forget to bring your lunch. You must not buy any foods in the zoo. If it rains on Thursday, we'll go there on Friday.

全訳

来週の木曜日、動物の絵を描きに市立動物園に行きます。動物園まで歩いていくから、午前9時までに学校に来てください。動物園は午前9時半に開園して、わたしたちは午後3時までそこにいます。鉛筆とスケッチブックを持ってくること。お昼ご飯を持ってくるのを忘れずに。動物園の中では食べ物を買ってはいけません。木曜日に雨が降ったら、金曜日に行きます。

解説

- ①～② 動物の絵を描きに木曜日に動物園に行く。
- ③ 「午前9時までに学校に来てください。」とあるので、集合時間は午前9時。
- ④ 「鉛筆とスケッチブックを持ってくること。お昼ご飯を持ってくるのを忘れずに。」とあるので、空所には「お昼ご飯〔昼食；お弁当〕」が入る。
- ⑤ 「木曜日に雨が降ったら、金曜日に行きます。」とあるので、雨天の場合は金曜日に延期される。

2章 助動詞

要点

■ 確認問題 1

解答

- (1) その機械はその石を半分に切ることができる。
- (2) この状況が続くことはありえるのだろうか。
- (3) 電話を使ってもよろしいでしょうか。

■ 確認問題 2

解答

- (1) 望むならもっと長くいてもよろしい。
- (2) 昨日彼は私たちに映画を見に行ってもいいと言った。
- (3) あなたのパソコンはどこか調子が悪いのかもしれない。

■ 確認問題 3

解答

- (1) 「ここで写真を撮ってもよいですか。」「いいえ、許可されていません。」
- (2) すみません。電車の時刻表を頂けますか。

■ 確認問題 4

解答

- (1) 私は明日までにこれらの単語を覚えなければならない。
- (2) この幹線道路を走るときは時速 80 キロを守らなければならない。
- (3) あなたは昇進について喜んでいるにちがいない。

■ 確認問題 5

解答

- (1) 生徒たちは少なくとも 1 日 1 時間は勉強に費やすべきだ。
- (2) そのような行動は違法かもしれないので、しないほうがいい。

■ 確認問題 6

解答

- (1) 公園には少し人がいたかもしれないが、確信がない。
- (2) 家にはまったく明かりがついていない。ヒューズが飛んだにちがいない。
- (3) あなたがアンディを見たはずがない。彼は今ドイツにいる。
- (4) そのエレベーターは先週に故障したが、今ごろは修理されているはずだ。

(5) 彼に金を貸すべきではなかったのに。あなたはその金を決して取り戻せないだろう。

問題

【1】

解答

- (1) 注意している時でさえ、事故は起こることがある。
- (2) 彼女は家にいるはずがない。数分前に道で歩いているのを私は見かけたのだから。
- (3) 一体その噂は本当なのだろうか。私にはほとんど信じられない。
- (4) 「これらの本をお借りしてよろしいですか。」「ええ、どうぞ。お役に立つかわかりませんが。」
- (5) ジョンはとても忙しいにちがいない。今日は彼の邪魔をしてはいけない。
- (6) ビルが門のところであなたを待っているはずだ。今すぐそこに行くべきだ。

解説

- (1) 「起こることができる」と訳すとおかしいので、「起こりうる；起こる可能性がある」と can を可能性の意味にとらえる。when you are careful 「注意している時」に even の意味を加えて訳す。この you は「一般の人（誰でも）」の you。
- (2) 「家にいることができない」ではなく、可能性の否定。「ありえない；～であるはずがない」ととらえる。
- (3) The rumor can be true. の疑問文。可能性を疑っている。hardly 「ほとんど…ない」、it は the rumor を指す。
- (4) May I …? は許可を求める言い方。…they may not …の may は推量。「役に立たないかもしれない」の意。
- (5) 「(とても) 忙しくなければいけない」は不自然。「(とても) 忙しいにちがいない」なら「邪魔してはいけない」と後の部分とつながる。
- (6) should は「…するべきだ」(義務) の他、「～のはずだ」(推量) の意を表すこともある。right away 「直ちに；今すぐ」

【2】

解答

- | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|
| (1) a may [might] rain | b may [might] have rained |
| (2) a may [might] not agree | b may [might] not have agreed |
| (3) a must know | b must have known |
| (4) a can't [cannot] be | b can't have been |
| (5) a should [ought to] attend | b should [ought to] have attended |
| (6) a should not [ought not to] tell | b should not [ought not to] have told |
| (7) a should [ought to] arrive | b should [ought to] have arrived |

解説

- (1) a 「…するかもしれない」→ may + 動詞の原形
b 「…したかもしれない」→ may + have + 過去分詞
- (2) a 「…しないかもしれない」→ may not + 動詞の原形

- b 「…しなかったかもしれない」→ may not + have + 過去分詞
- (3) a 「…するにちがいない」→ must + 動詞の原形
 b 「…したにちがいない」→ must + have + 過去分詞
- (4) a 「…するはずがない」→ cannot + 動詞の原形
 b 「…したはずがない」→ cannot + have + 過去分詞
- (5) a 「…するべきだ」→ should [ought to] + 動詞の原形
 b 「…するべきだった(のにしなかった)」→「～すればよかったのに」→ should [ought to] + have + 過去分詞
- (6) a 「…するべきではない」→ should not [ought not to] + 動詞の原形
 b 「…するべきではなかった(のにしてしまった)」→「…しなければよかったのに」→ should not [ought not to] + have + 過去分詞
- (7) a 「(当然) …するはずだ」→ should [ought to] + 動詞の原形
 b 「(当然) …したはずだ」→ should [ought to] + have + 過去分詞

[3]

解答

- (1) (You) may not eat or drink in this room.
 (2) (You) should not eat sweets at night.
 (3) (Driving at night) can be dangerous.
 (4) (Keiko) may [might] know where he has gone.
 (5) (Peter) must be telling lies.
 (6) (They) must have lost their way.
 (7) (He) cannot [can't] have written it by himself.
 (8) (He) may have said a thing like that.
 (9) (You) should [ought to] have trusted him.
 (10) (You) should not [ought not to] have asked him for help.

解説

- (1) 「この部屋の中では飲食を許可しません。」⇒「この部屋では飲食は許されていません。」
 主語が転換していることに注意。You are not allowed to …≡ You may not …
- (2) 「夜は甘いものを食べないようにあなたにアドバイスします。」⇒「あなたは夜は甘いものを食べない方がいい。」
- (3) 「夜の運転は危険なこともある。」⇒「夜の運転は危険でありうる。」
- (4) 「彼がどこに行ったのかケイコがおそらく知っているのではないか。」⇒「彼の行き先をケイコなら知っているかもしれない。」
- (5) 「ピーターはきつとうそをついていると私は思う。」⇒「ピーターはうそをついているにちがいない。」
- (6) 「彼らが道に迷ったことは確かだ。」⇒「彼らは道に迷ったにちがいない。」
- (7) 「彼が自分でそれを書いたなんてありえない。」⇒「彼が自分でそれを書いたはずがない。」過去の可能性の否定→ cannot + have + 過去分詞

- (8) 「彼がそんなことを言ったということはあり得る。」⇒「彼はそんなことを言ったかもしれない。」過去の可能性に can + have + 過去分詞は使えないので may にする。
- (9) 「あなたが彼を信頼しなかったことは残念だ。」⇒「あなたは彼を信頼すべきだったのに (実際はしなかった)。」「～すればよかったのに。」→ should [ought to] + have + 過去分詞
- (10) 「あなたが彼に助けを求めたとは悔やまれることだ。」⇒「あなたは彼に助けを求めるべきではなかったのに (実際は求めてしまった)。」「しなければよかったのに。」→ should not [ought not to] + have + 過去分詞

【4】

解答

- (1) can't
 (2) must
 (3) cannot have done
 (4) may have lost
 (5) might have done
 (6) should have been abolished
 (7) not to have gone

解説

- (1) 「彼は40歳を超えているはずがない」→可能性 can の否定。第2文「彼はまだ20代であるにちがいない」がヒント。
- (2) 「1マイルをそんな短時間で走ったなんて、あなたは優れた運動選手であるにちがいない」根拠を表す不定詞 to have run 以下にヒントがある。
- (3) 「彼がそれを盗んだにちがいない」「いいえ。彼はとても真面目な少年です。彼が盗んだはずがない」「…したなんてありえない、はずがない」→ cannot + have + 過去分詞
- (4) 「彼女はまだここに来ていない。道に迷ったのかもしれない」「…したのかもしれない」→ may + have + 過去分詞。I'm afraid は相手の言う内容に賛同できない場合や、単に「残念ですが」の意を付加する際に文頭に置くことが多い。必ずしも訳出しなくてよい。
- (5) 「昨日のテストはよくできたかもしれないが、まだ結果はわからない。」結果を見ておらず事実として「よくできた」とはまだ言い切れないので、過去の推量→助動詞 + have + 過去分詞を用いる。
- (6) 「これらの規則は時代遅れになってしまっている。はるか昔に廃止されているべきだったのに」「…するべきだったのに (実際はしていなかった)」→ should [ought to] + have + 過去分詞を受動態にする。
- (7) 「あなたはそこに行くべきではなかったのに (行ってしまった)」否定の not は to の直前につける。〔○ : ought not to, × : ought to not〕

【5】

解答

- (1) I must have chosen the wrong answer.
- (2) I may have come across the man somewhere before.
- (3) She cannot have spoken ill of her friends.
- (4) You ought not to have crossed the street (when the light was red).
- (5) The freedom of the press ought to be respected.
- (6) The government should have listened to the voices of the public (before introducing the new tax reform.)

解説

- (1) 「…したにちがいない」 → must + have + 過去分詞
- (2) 「…したかもしれない」 → may + have + 過去分詞
「～に出くわす」 → come across ～
- (3) 「…したはずがない」 → cannot + have + 過去分詞
「(～の) 悪口を言う」 → speak ill of ～
- (4) 「…するべきではなかったのに (実際はしてしまった)」 → should not(ought not to) + have + 過去分詞
- (5) 「…するべき」 ought to の後が, 「する」ではなく「される」なので受動態 (be 動詞 + 過去分詞) になる。
- (6) 「…するべきだったのに (実際はしなかった)」 → should + have + 過去分詞

【6】

解答

- (1) My brother will be able to ride a bicycle by himself soon.
- (2) I have never been able to sing well since I was a little child.
- (3) I was able to borrow an umbrella, so I didn't get wet.
- (4) You must keep your uniform clean, but you don't have to wash it every day.
- (5) On Sunday we could [were allowed to] stay in bed till nine.
- (6) I can't find my umbrella. Someone may [might] have taken it by mistake.
- (7) You had better not spend so much money on computer games.
- (8) The roof of the house must have been blown off during the storm.
- (9) You shouldn't have stayed up late last night.
- (10) A : Hello. Could I speak to Mr. Green?
B : I'm sorry, but he is in a meeting. Would you wait or come back later?
A : I'd like to wait. I need to talk to him.
B : OK, but he might not come back here. He might go out to eat after the meeting.

解説

- (1) 未来の助動詞 will の後に can を続けることはできないので, be able to を続ける。

- (2) 「幼い頃から今までずっと…」なので現在完了を用いる。
- (3) そのとき実際にできたという事実なので be able to を用いる。could は不可。
- { 「借りる」→持ち出す, 家に持って帰るような借り方→ borrow
 { その場で使わせてもらう借り方→ use
 { レンタルでお金を払う借り方→ rent
- (4) 「…する必要はない」→ have to を否定する。
 一般動詞の need を否定して don't need to wash, 助動詞の need を否定して need not wash としても可。
- (5) 能力の話ではなく, そうしたければ寝ていてもかまわなかったという許可の could。
- (6) 「…したのかもしれない」→ may + have + 過去分詞
- (7) 「…しないほうがいいぞ」→ had better not が適切
- (8) 「…したにちがいない」→ must + have + 過去分詞。「吹き飛ばす」blow off を受動態にする点に注意が必要。
- (9) 「…すべきでなかったのに」→ should + have + 過去分詞。stay up 「寝ないで起きている」の意。

【7】

解答

- (1) 我々の知っている類の生物は, 光と熱が適切な状況下でのみ生存することができる。地球が太陽からきっちり正しい〔適切な〕量の放射エネルギーを受けているからこそ, 我々は生存しているのである。このバランスを崩せば, 生物は地球から消えてしまうにちがいない。そしてこうした現状の中心にあるのは, このバランスがいつも簡単に崩されうるといことなのである。
- (2) ユーモアの感覚とは何だろうか。それを定義するのはとても難しい。しかしユーモアは国境を越えるものである。外国人とコミュニケーションをとる最良の方法は, 笑わせることである。私が思うに, 笑いはエデンの園における最初の言語だったにちがいない。「笑えば世間のみんなも一緒に笑ってくれるが, 泣けば泣くのはあなたひとりだ。」というのは最もよく知られた英語の格言の一つである。この言葉は, 社会と国際理解における笑いの大切さを表している。
- (3) 原始人がなした進歩の大部分と同じように, 調理法の発見もまったく偶然のものだったにちがいない。おそらく食物が火の中に落ち, 焼けた肉の方が生の肉より柔らかいことを知ったのだろう。初めは焼いた肉の味は好きではなかったかもしれない。しかし火を通した食物がより柔らかくより食べやすいという事実がやはり気に入ったのだろう。原始人は知らなかったことだが, この新しい食事方法により人間はより多くのエネルギーを得た。また, 火を通すことで肉に付く寄生虫のいくらかが殺されたにちががなく, おかげで人間は火を通して肉を食べる以前よりも健康になった。ある時, 人間は火のついた棒を持って歩くと動物が怖がって逃げることを知ったにちがいない。このことが新しい狩猟方法を思いつかせた。

burning stick.

- must + have + 過去分詞「…だったにちがいない」ここでは、have の後の過去分詞 2 つ (destroyed と made) が等位接続詞 and で結ばれている。

【8】

解答

- (1) ①ごみを集め、それらを新しい商品にするべく工場に売っていること。
②古い商品を再利用していること。
- (2) ①古タイヤから新しいタイヤを作ること。
②古タイヤから靴や座席を作ること。
- (3) 穀物や家畜に害を与える病気をもっている可能性があること。
- (4) 廃棄物の回収は貧しく教育を受けていない労働者のためにある、という誤解。

解説

- (1) l. 3 ~ l. 4 参照。or より前で1つ目、or 以降で2つ目の解答となる。
- (2) l. 7 の and 以降が根拠。
- (3) l. 10 But 以降が根拠。
- (4) l. 12 が根拠。

全訳

ごみは大半の町や都市にとっての大きな問題である。ごみのせいで、人々は病気になりうる。ネズミや他の危険な動物はごみを食べて生きることができる。しかしながら、多くの国の人々はこの問題の解決を手助けしており、お金をもうけてもいる。ごみを集め、それらを新しい商品にするべく工場に売っている。あるいは、古い商品を再利用している。

最も人気のあるごみは紙である。工場では、それが新しい紙になる。古い車も人気である。なぜならば、それらには多くの種類の金属——例えば、鋼鉄、アルミニウム、銅——があり、工場では、古いタイヤから新しいタイヤを作ることができるからである。靴、座席や船の衝撃を和らげるガードを作るために古タイヤを使う人もいる。古いガラス瓶が何度も何度も使われる時がある。割れたガラスから新しいガラスになる。布は布工場で使われる。人や動物から出る排泄物は土壌や穀物を肥沃にするのに貴重である。しかし、それらには、穀物や農場の動物に害を与えうる病気があるかもしれない。

ある国々の人は、ごみを収集することは貧しく教育を受けていない労働者のためにあると考えている。こうした考えを変えることは難しい場合が多いが、ごみ収集は重要であり、ごみの回収業者はその仕事でたくさんお金をもうけることができる。

リスニング演習

解答

No.1 D No.2 B No.3 C No.4 A

Script

CD 3

My name is Kazuya. I live in Osaka with my father, mother, grandmother and two brothers now, but we will live in a small town in Shizuoka from March. My father is going to work at the factory there. I will go to my new school in the town from April. I hope I will have a lot of new friends there.

全訳

ほくの名前はカズヤです。ほくは今、父、母、祖母、2人の兄〔弟〕と大阪に住んでいます。ほくたちは3月から静岡の小さな町に住むことになっています。父はその工場で働くことになっています。ほくは4月から町の学校に新たに通うことになります。そこでたくさんの新しい友達ができればよいと思います。

解説

No.1 カズヤは父、母、祖母、2人の兄〔弟〕と住んでいるので、カズヤも入れると6人家族となる。

No.2 父親の仕事の関係で静岡に行くのだから、大阪を去ることになる。leave（～を去る）が正解。

No.3 factory（工場）で働くとして述べている。

No.4 4月から新しい学校に通うのだから、spring（春）を選ぶ。

解答

- ① Canada ② history ③ university ④ two

Script

CD 4

Tsuyoshi : Hello. Nice to meet you. I'm Tsuyoshi. I'm a junior high school student.

Laura : Nice to meet you, too. My name is Laura. I'm from Canada.

Tsuyoshi : Why did you come to Japan?

Laura : I came here to study Japanese history. I'm interested in old temples, so I'm studying at a university in Nara and I visit temples every weekend.

Tsuyoshi : How long are you going to stay in Japan?

Laura : For two years.

全訳

ツヨシ：こんにちは。はじめまして。ほくはツヨシ。中学生です。

ローラ：はじめまして。わたしの名前はローラ。カナダ出身です。

ツヨシ：なぜ日本に来たのですか。

ローラ：わたしは日本史を勉強するためにここに来たの。古いお寺に興味があるから、奈良の大学で勉強していて、週末ごとにお寺に出かけているわ。

ツヨシ：日本にはどのくらいいるつもりですか。

ローラ：2年間よ。

解答

① カナダ出身だと述べている。

② Japanese history（日本史）を勉強するために日本に来たと述べているので、history（歴

史)を入れる。

- ③ 奈良の university (大学) で勉強している。
- ④ 日本には2年間いる。